

授業科目名	【G】フレッシュマン・セミナーⅡ	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2		
		必修						
科目区分	基本科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	心理学を通じた大学生としての基礎的なスキルの習得			担当者	榎本 恭介			
授業概要	【概要】	大学生としての学習に必要な基礎能力の習得を目標に、心理学に関するテーマなどを用いた授業を通して必要なスキルを身につける。具体的には、グループワーク、ディスカッション、レポートの執筆等を通して、自らの考えを文章にすることやパワーポイントにして発信すること、他者と意見交換する際に重要な点についての学びを深める。						
	【到達目標】	(1) 大学生としての学習に必要な様々なスキル等を身に付け、他の授業においても応用できるようになる。 (2) 心理学に関するワークを通して、自分の大学生活の見通しを持つ。						
履修条件	特になし。ただし、履修の前提条件として、積極的な授業参加を目指し、主体的に学習をしようとする者。グループワーク等にも意欲的に参加しようとする者。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	本演習で基礎・基本を構築し、教養演習へと繋げていく。							
教科書	特に指定しない。適宜資料を配布する。							
参考書	特に指定しない。							
評価方法	授業への参加度、授業内課題(60%)、期末レポート(40%)を総合的に評価する。							
フィードバック方法	授業内課題については演習内でフィードバックを行う。期末レポートについては成績評価後にコメントをつけて返却する。							
評価基準	授業に積極的に参加して、学習した内容をよく理解し、課題を達成できた者にはその程度により「S」または「A」、不足がある場合にはその程度により「B」または「C」とする。参加度や達成度が著しく低い者はその程度により「D」または「E」、全く参加しないなど判定不能な者は「F」とする。							

授業 科目名	【G】フレッシュマン・セミナーⅡ	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
		必修				
授業内容	<p><Ⅰ. オリエンテーション・自己紹介・アイスブレイク(第1回)> 授業の概要の説明、教員および学生間での自己紹介、アイスブレイクのワークを行う。</p> <p><Ⅱ. (第2回～第14回)> 大学生生活と心理学を絡めたワークおよびにグループディスカッションを行い、自分についての理解を深め、文章化を行う。扱うテーマは、「コミュニケーションの向上」「自身の価値観や強みに関する自己分析」「ストレスマネジメント」等である。</p> <p><Ⅲ. 価値のワークと総括(第15回)> 心理学の概念である「価値」についての授業を行った後、半期の授業を振り返り授業で学んだ内容を総括する。</p>					
予習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に与えられた課題について、資料等を検索しまとめる。 ・授業毎の予習時間は、90分程度を目安としてください。 					
復習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に解説された内容について振り返り、ノート等にまとめる。 ・授業毎の復習時間は、90分程度を目安としてください。 					
その他	<p>受講者の興味・関心に合わせて授業の内容を変更する場合がある。</p> <p>※Gカリ:【必修(〇お)】</p>					